

京都府の地震活動

平成 30 年 (2018 年) 11 月

第 31 卷 第 11 号

京都地方気象台

目 次

震央分布図、概況	・・・ 1
震央分布図、断面図	・・・ 2
京都府で震度 1 以上の揺れを観測した地震の震度一覧表	・・・ 3
京都府で震度 1 以上の揺れを観測した地震の震度分布図	・・・ 4
【地震一口メモ】2018 年 11 月 2 日 紀伊水道の地震について	・・・ 7

『京都府の地震活動』は、京都府及びその周辺の地震活動状況を解説するとともに、地震防災知識の普及に資するため、毎月刊行しています。

本誌に掲載した震源要素、震度データは、再調査された後、修正されることがあります。

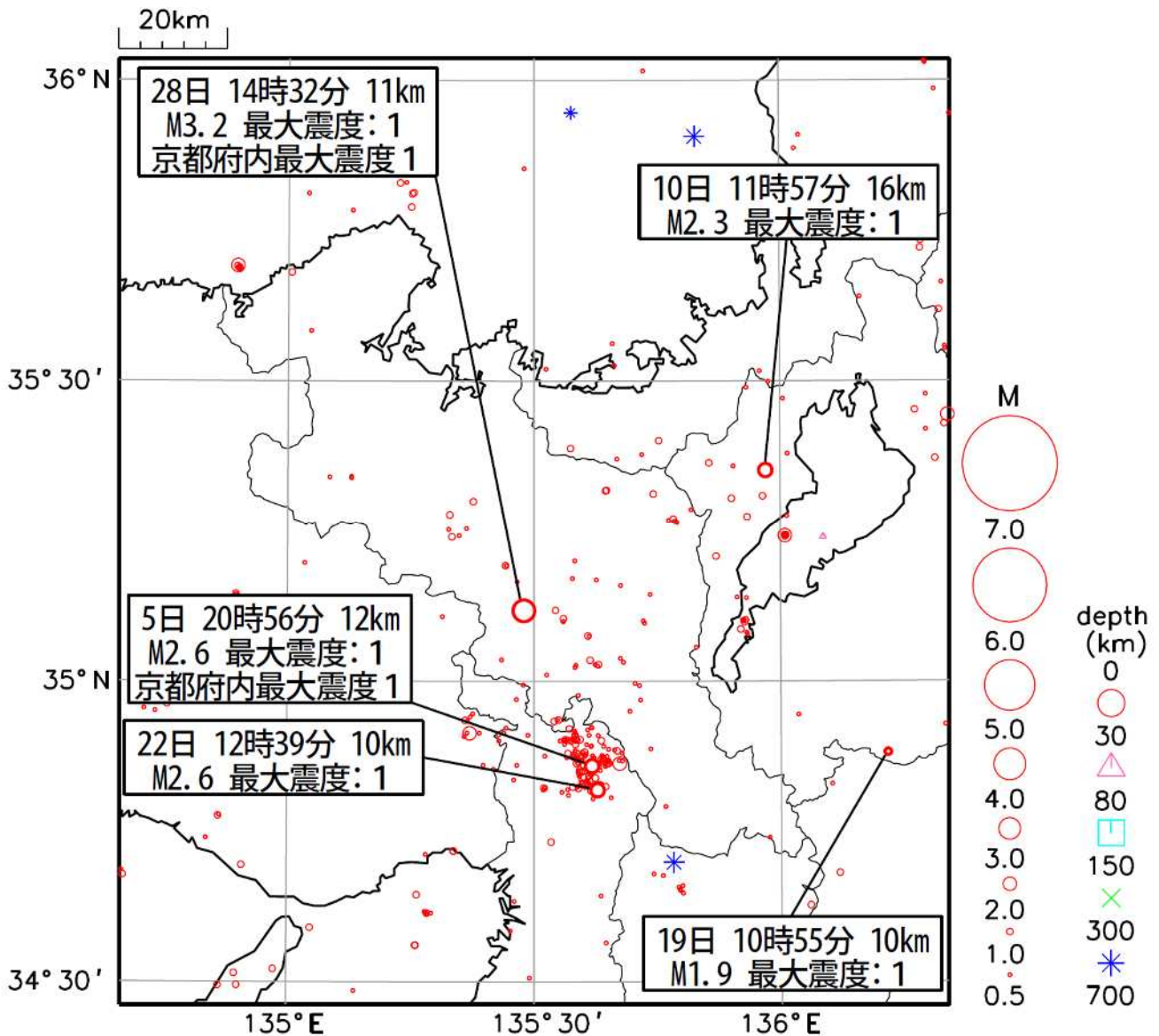
本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016 年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、米国大学間地震学研究連合(IRIS)の観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成しています。

震度データは、気象庁の震度計の観測データに併せて地方公共団体及び国立研究開発法人防災科学技術研究所から提供されたものを掲載しています。

震央分布図（マグニチュード0.5以上、深さ0～700km）

2018 11 01 00:00 - 2018 11 30 24:00

総数：390



- ・震源の深さを表す「 \square 、 \times 、 $*$ 」の記号は、マグニチュード（M）の大きさに対応したサイズで表記。
- ・震度1以上を観測した地震には、日時、マグニチュード（M）及び京都府内で震度を観測した地震については、京都府内最大震度を付記。

概況

11月の震央分布図内で観測したマグニチュード2.0以上の地震は15回、震度1以上の揺れを観測した地震は5回ありました（10月はそれぞれ20回、7回）。

京都府内で震度1以上の揺れを観測した地震は4回（10月は8回）でした。

2日16時53分 紀伊水道の地震（図の領域外：M5.4、深さ44km）により、京都府内で震度3～1を観測したほか、東海から中国・四国地方にかけて震度4～1を観測しました。

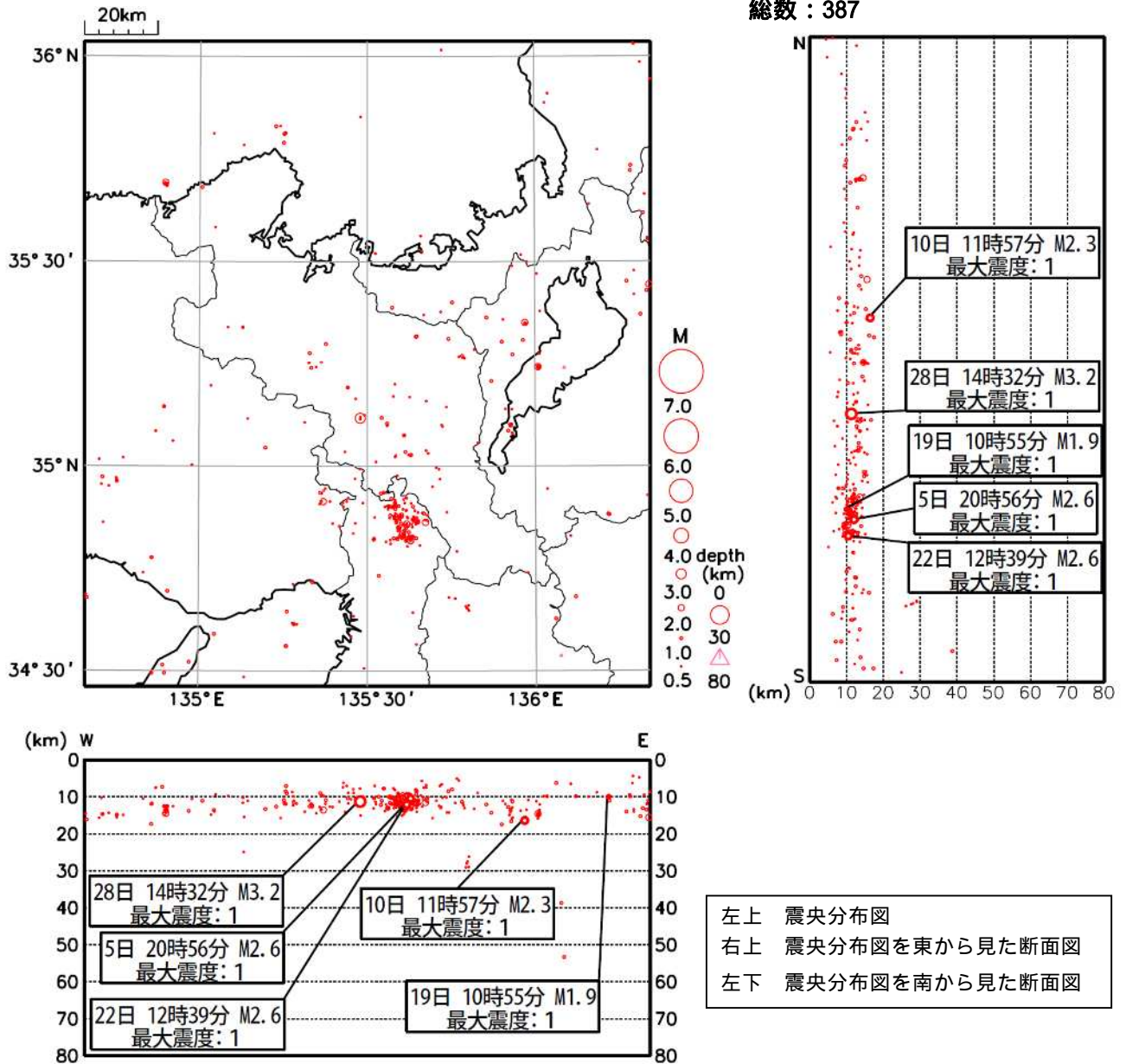
5日08時19分 紀伊水道の地震（図の領域外：M4.6、深さ45km）により、京都府内で震度2～1を観測したほか、東海から中国・四国地方にかけて震度3～1を観測しました。

5日20時56分 大阪府北部の地震（M2.6、深さ12km）により、京都府宇治市・八幡市・久御山町で震度1を観測しました。

28日14時32分 京都府南部の地震（M3.2、深さ11km）により、京都府福知山市・京都市中京区・京都市右京区・亀岡市・京丹波町・南丹市で震度1を観測しました。

震央分布図、断面図（マグニチュード0.5以上、深さ0～80km）

2018 11 01 00:00 - 2018 11 30 24:00



・震源の深さを表す「 \circ 」、「 \triangle 」の記号は、マグニチュード (M) の大きさに対応したサイズで表記。

深さ数 km～約 20km に分布している地震は陸側のプレート内で発生した地震（地殻内地震）、深さ約 30km～約 60km に分布している地震は、沈み込むフィリピン海プレート内の地震です。

京都府で震度1以上の揺れを観測した地震の震度一覧表(2018年11月)

番号	観測日時		震央地名	北緯	東経	深さ (km)	規模 (M)
	月日	時分		(度分)	(度分)		
	11月2日	16:53	紀伊水道	33° 41.7'	135° 11.7'	44	5.4
	11月5日	08:19	紀伊水道	33° 43.6'	135° 17.0'	45	4.6
	11月5日	20:56	大阪府北部	34° 51.5'	135° 37.0'	12	2.6
	11月28日	14:32	京都府南部	35° 07.0'	135° 28.7'	11	3.2

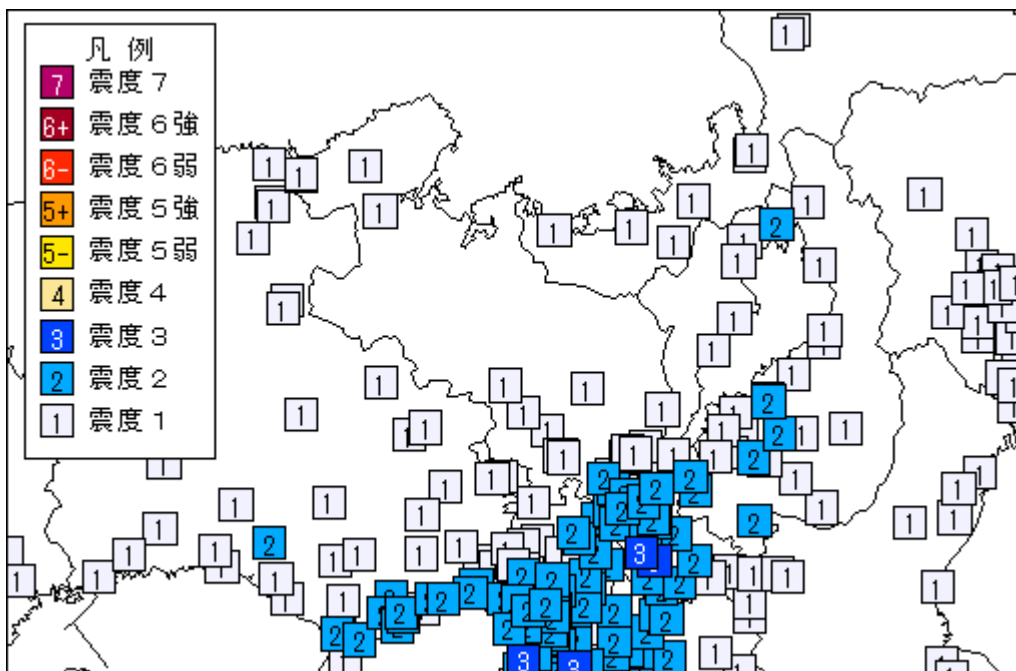
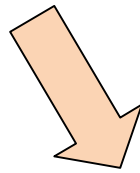
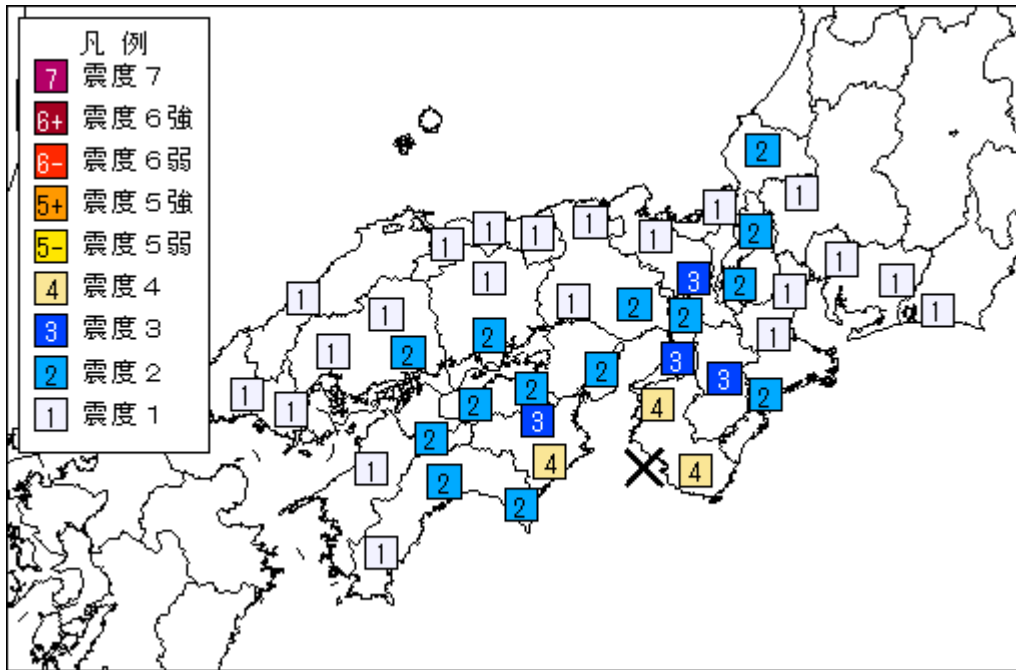
地域	震度観測点	所属	各地の震度			
北 部	福知山市内記	気	-	-	-	-
	福知山市長田野町	防	-	-	-	-
	福知山市三和町千束	自	-	-	-	1
	福知山市夜久野町額田	自	-	-	-	-
	福知山市大江町河守	自	-	-	-	-
	舞鶴市下福井	気	-	-	-	-
	舞鶴市浜	防	-	-	-	-
	舞鶴市北吸	自	-	-	-	-
	綾部市若竹町	自	-	-	-	-
	宮津市柳縄手	自	-	-	-	-
	伊根町亀島	防	-	-	-	-
	伊根町日出	自	-	-	-	-
	京丹後市弥栄町吉沢	気	-	-	-	-
	京丹後市久美浜町広瀬	防	1	-	-	-
	京丹後市峰山町	自	1	-	-	-
	京丹後市大宮町	自	-	-	-	-
	京丹後市網野町	自	-	-	-	-
	京丹後市丹後町	自	-	-	-	-
	京丹後市弥栄町溝谷	自	-	-	-	-
	京丹後市久美浜市民局	自	1	-	-	-
与謝野町加悦	自	-	-	-	-	
与謝野町岩滝	自	-	-	-	-	
与謝野町四辻	自	1	-	-	-	
南 部	京都北区紫竹	自	-	1	-	-
	京都北区中川	自	-	-	-	-
	京都上京区藪ノ内町	自	1	-	-	-
	京都上京区今出川御前	自	1	-	-	-
	京都左京区広河原能見町	防	-	-	-	-
	京都左京区田中	自	1	-	-	-
	京都左京区鞍馬	自	-	-	-	-
	京都左京区花脊	自	-	-	-	-
	京都左京区岩倉	自	-	-	-	-
	京都左京区大原	自	1	-	-	-
	京都中京区西ノ京	気	1	1	-	1
	京都中京区河原町御池	自	1	-	-	-
	京都東山区清水	自	-	-	-	-
	京都下京区河原町塩小路	自	1	-	-	-
	京都南区西九条	自	1	-	-	-
	京都右京区京北周山町	自	1	-	-	1
	京都右京区太秦	自	-	-	-	-

地域	震度観測点	所属	各地の震度			
南 部	京都右京区嵯峨	自	-	-	-	-
	京都右京区嵯峨嵯原	自	-	-	-	1
	京都伏見区竹田	自	1	-	-	-
	京都伏見区醍醐	自	2	1	-	-
	京都伏見区向島	自	2	1	-	-
	京都伏見区淀	自	2	-	-	-
	京都伏見区久我	自	2	-	-	-
	京都山科区安朱川向町	防	1	-	-	-
	京都山科区西野	自	1	-	-	-
	京都西京区榎原	自	1	-	-	-
	京都西京区大枝	自	2	1	-	-
	宇治市宇治琵琶	気	2	1	1	-
	宇治市折居台	防	2	1	-	-
	亀岡市安町	気	1	1	-	1
	亀岡市余部町	防	1	-	-	-
	城陽市寺田	自	2	1	-	-
	向日市寺戸町	自	2	1	-	-
	長岡京市開田	自	1	1	-	-
	八幡市八幡	自	2	2	1	-
	大山崎町円明寺	自	2	1	-	-
久御山町田井	自	2	1	1	-	
京田辺市田辺	自	3	1	-	-	
井手町井手	自	3	2	-	-	
宇治市原町荒木	自	2	1	-	-	
笠置町笠置	自	1	-	-	-	
和束町釜塚	自	2	1	-	-	
精華町南福八妻	自	2	1	-	-	
南山城村北大河原	自	1	1	-	-	
京丹波町坂原	気	-	-	-	-	
京丹波町蒲生	自	1	-	-	1	
京丹波町橋爪	自	-	-	-	1	
京丹波町本庄	自	-	-	-	1	
南丹市美山町島	自	-	-	-	-	
南丹市園部町小桜町	自	1	-	-	1	
南丹市八木町八木	自	1	-	-	-	
南丹市日吉町保野田	自	-	-	-	1	
木津川市山城町上狛	自	1	1	-	-	
木津川市加茂町里	自	2	1	-	-	
木津川市木津	自	2	-	-	-	

注1：所属のうち、「気」は「気象庁」、「防」は「防災科学技術研究所」、「自」は「自治体」を示しています。

注2：表 数字は、11月に京都府内で震度1以上の揺れを観測した地震番号を表しています。

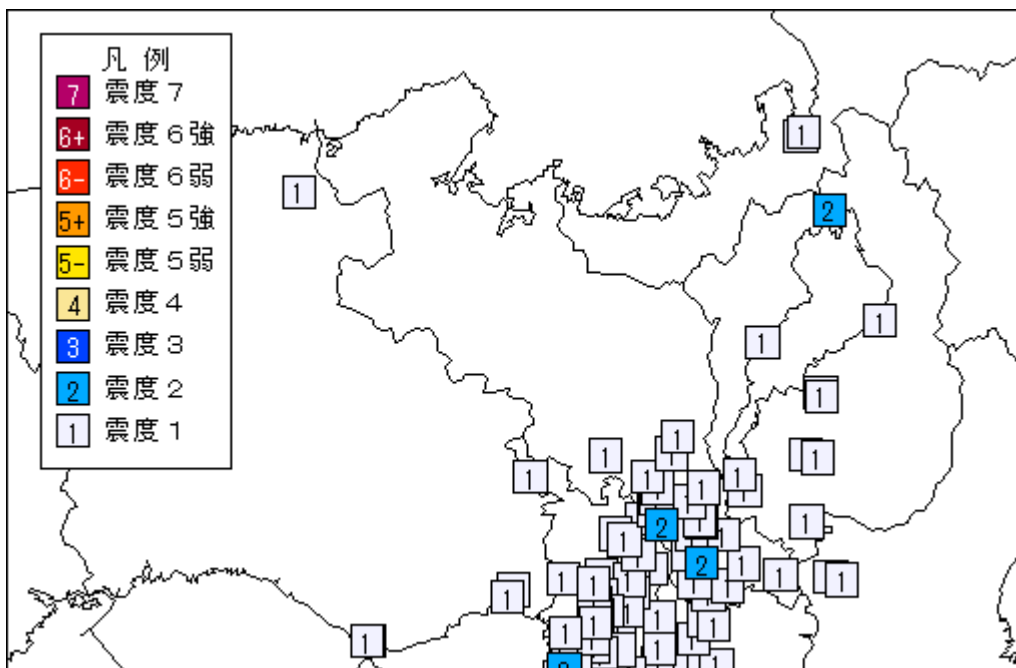
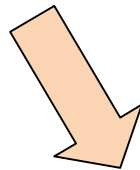
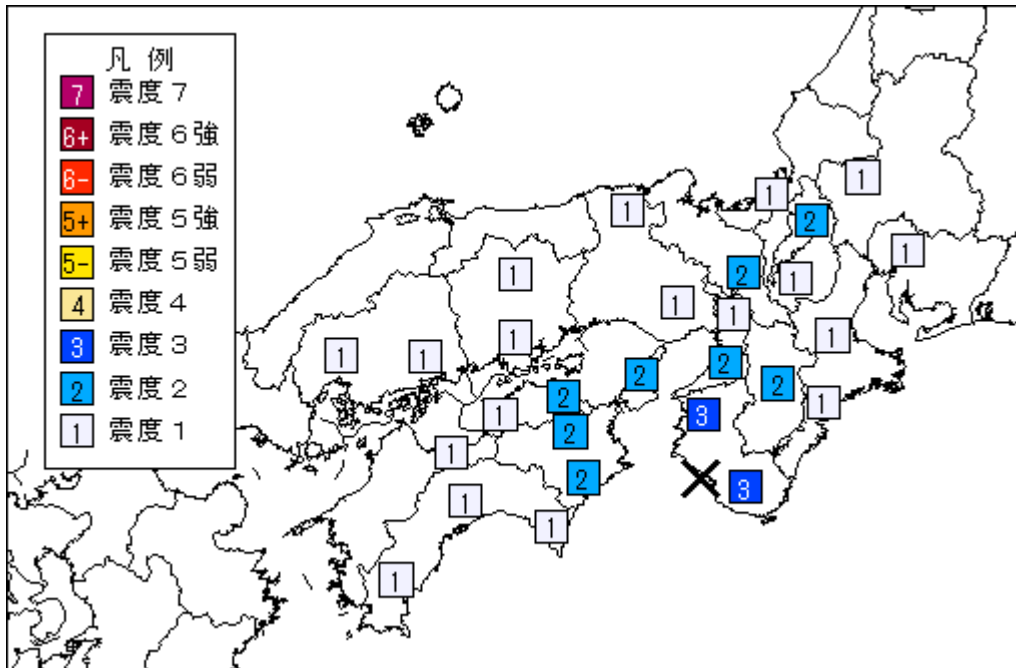
京都府で震度1以上の揺れを観測した地震の震度分布図 (上図：地域別、下図：観測点別)



11月2日 16時53分 紀伊水道の地震 (M5.4、深さ44km)

(図中の×印は震央位置)

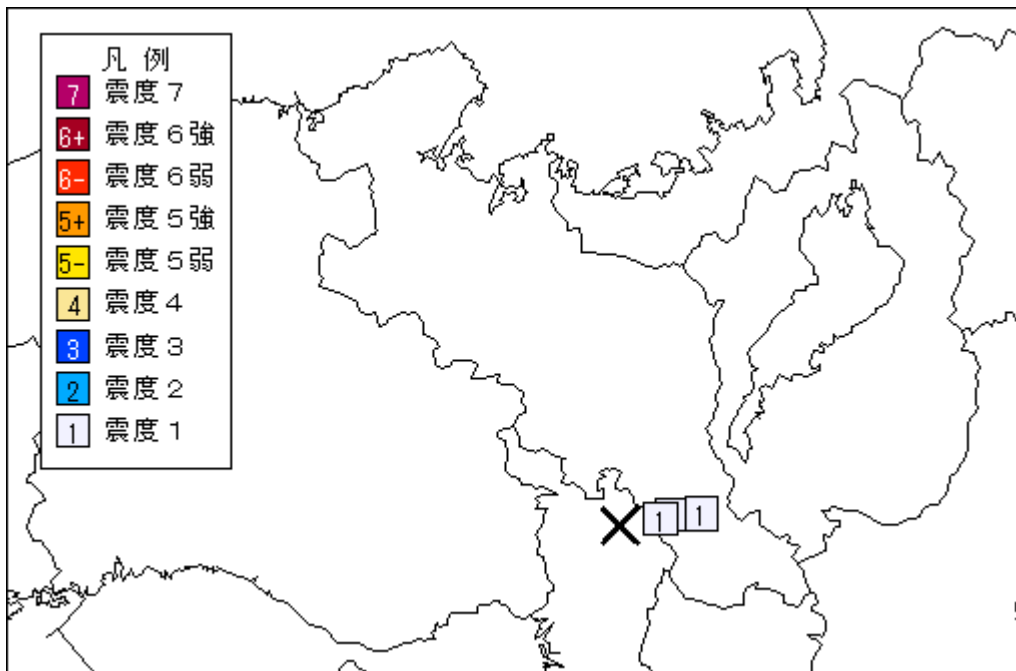
京都府で震度1以上の揺れを観測した地震の震度分布図 (上図：地域別、下図：観測点別)



11月5日 08時19分 紀伊水道の地震 (M4.6、深さ45km)

(図中の×印は震央位置)

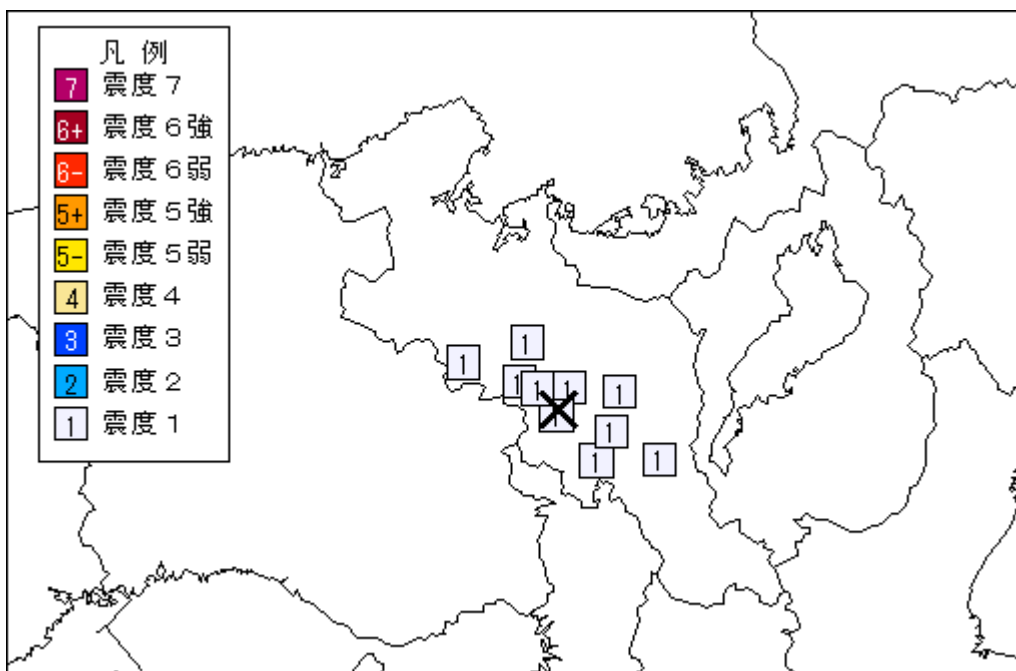
京都府で震度1以上の揺れを観測した地震の震度分布図（観測点別）



11月5日 20時56分 大阪府北部の地震（M2.6、深さ12km）

（図中の×印は震央位置）

京都府で震度1以上の揺れを観測した地震の震度分布図（観測点別）



11月28日 14時32分 京都府南部の地震（M3.2、深さ11km）

（図中の×印は震央位置）

【地震一口メモ】

2018年11月2日 紀伊水道の地震について

11月2日16時53分に発生した紀伊水道の地震（M5.4、深さ44km）について解説します。

この地震では、和歌山県と徳島県で震度4を観測したほか、京都府でも震度3～1を観測しました。また、この地震の発生後、11月30日現在、この地震とほぼ同じ場所（図2の領域b内）で震度1以上を観測した地震が4回（最大震度3：1回、最大震度1：3回）発生しています。

図3をみると、今回の地震の震源付近（図2の領域b内）は、過去マグニチュード4.0以上の地震が時々発生するなど、もともと地震活動が見られている場所であることがわかります。

今回の地震はフィリピン海プレート内部で発生した地震でした（図1、2）。想定されている南海トラフ巨大地震は、陸のプレートとフィリピン海プレートの境界で発生するものです。発生タイプが異なるため、南海トラフ巨大地震とは直接の関係はないと思われます。

また、11月7日に開催された「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」（定例）において、「現在のところ、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。」と評価されています。

南海トラフ地震に関連する情報（定例）<https://www.data.jma.go.jp/svd/eew/data/nteq/index.html>

一方、日本国内では、いつどこで強い揺れを伴う地震が発生してもおかしくありません。今回の地震で不安に思われた方はもちろん、そうでない方も、この機会に家具の固定、寝室やリビングの安全確保や避難方法の確認を行うなど、地震への備えをお願いします。

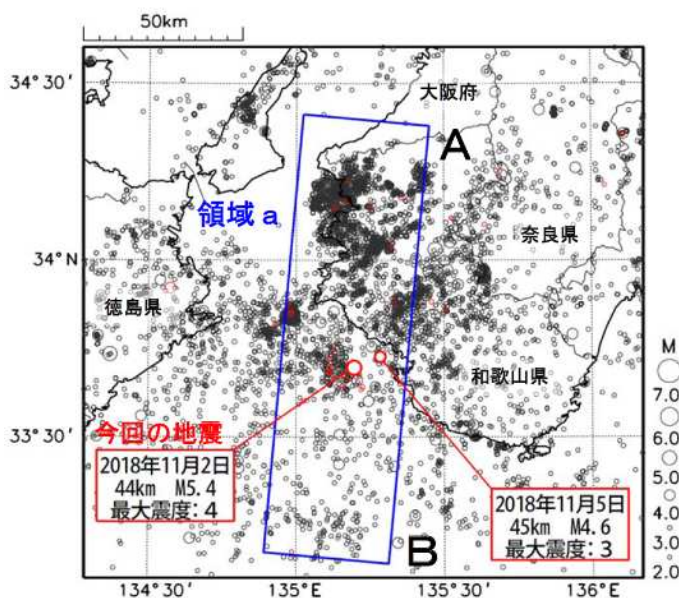


図1 震央分布図
1997年10月1日～2018年11月30日
深さ0～80km、マグニチュード（M）2.0以上
2018年11月1日以降を赤○で表示

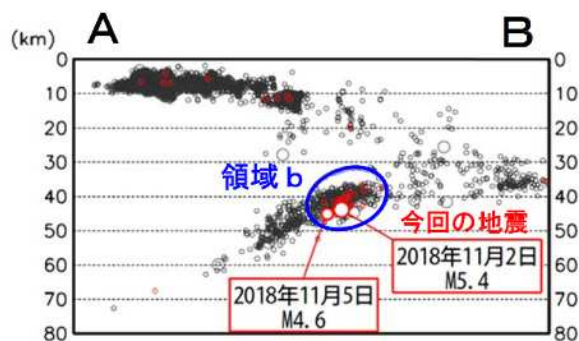


図2 図1の領域a内のA-B断面図

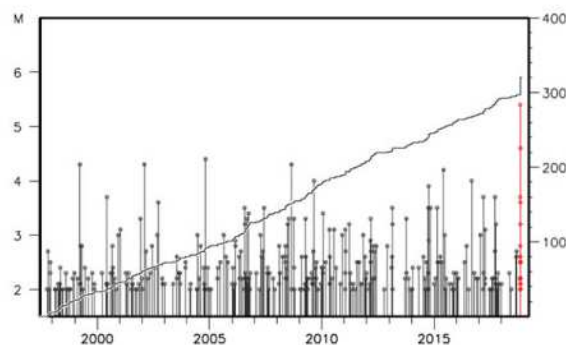


図3 図2の領域b内の地震活動経過及び回数積算図